令和7年度　学校通信　NO1　　文責　校長　和田義則

# 「みんな全力、そして笑顔でがんばった体育大会」

第６７回穴生中学校体育大会が、晴天の下で盛大に開催されました。４月に本校に赴任し、初めての体育大会でしたが、全力で演技と応援する生徒の姿、そしてその生徒を応援する先生方の姿に素晴らしい学校だと感動しました。下記のように、生徒は体育大会において多くのことを学んだようです。平日にも関わらず多くの保護者の皆さんにご観覧いただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

## １年生感想

中学校初めての体育大会で、誰かが失敗したり、どれだけ差がついても、みんな笑顔、元気で、とても大きな声で「がんばれ。」と応援していたのが心に残りました。今回の体育大会は、どのブロックも全力で取り組んでいました。私は、最後まで全力であきらめずに取り組むことの大切さと、全力でやりきれば、勝てなくてもみんなで「楽しかった。」と笑顔で終われるんだと思いました。

体育大会では、友達、チーム、他のチームからの熱い応援のおかげで、とにかくあきらめずに頑張ることができました。この応援には、「思いやりの心」「一生懸命に頑張る心」「あきらめない心」の3つの心と、「協力」という意味が込められていると思います。なぜならリレー等で３位でも、みんな「仕方ない。」「つぎ頑張ろう。」という声が出ていたからです。次に生かしたいことは、何があっても仲間と協力することです。仲間と協力することで、みんなの気持ちが一つになり、思いやりの心をもって次も頑張れると思ったからです。

中学初めての体育大会で、先輩の偉大さを改めて感じました。１年生はどのように行動すればいいか迷っていましたが、先輩は「自分のためだけではなく、仲間のためにやる。」という気持ちで、仲間と声を掛け合って「ナイス！」等の優しい声掛けが飛び交っていました。一人一人が一生懸命にやって、それでも迷ったら先輩たちが引っ張ってくれました。

一番3年生が本気で頑張っている姿を見て、応援しようという気持ちと僕たちもやってやるという気持ちになりました。２・３年生のかっこいい姿をみて、「絶対来年はあんな２年生になるぞ。」と思いました。

## ２年生感想

３年生の集団演技は、誰一人気を抜かずに集中して全力で演技をしてかっこいいと思いました。全員の一体感があり、全体のまとまり、意思のつながり、動きでのブレのなさがすごかった。来年は、３年生の集団行動をこえられるような演技をしたいです。もっともっと難しい集団行動をやってみたいです。さすが３年生といった集団演技で、一つ一つの団結力や協調性等がすごかったです。ソーラン節は、３年生がするからこそ迫力があってよかったです。

大縄でクラスのみんなと協力していっぱい飛んだから、クラスの団結力が成長したと思います。最初は１０回しか飛べなかったけど、あきらめないで連取したら６１回も飛べました。あきらめないで続けていったら、成長してできるようになるから、他のこともあきらめないで続けたいです。練習で１位になっても、目標の８５回が達成できなかったので、もっとやる気が出た。目標を立てることは大切だと感じ、様々なことに目標を立てたいと思いました。

## 3年生感想

最初はダンスも集団行動もうまくいきませんでしたが、熱心に指導してくださった先生方や体育委員、ダンス委員のおかげで少しずつ上達しました。本番当日、最高の仲間達との「最後の体育大会」で練習の成果を発揮し、一番よい演技ができました。きっと後輩に良い姿を見せることができたと思います。今回の体育大会で、「人は支え合っている。」と改めて感じました。これからも支えてくれる人たちへ、感謝を忘れずに生活しようと思いました。

最後の体育大会で、初めて体育委員をしました。朝の準備等たくさんあって大変だったけど、とてもやりがいのある仕事だと感じました。最後の集団行動は、一人一人が集中していることが伝わりました。ロープ引きでは優勝することができ、うれしい気持ちをクラス全員で共有でき、さらに嬉しくなりました。